

竹原市予算特別委員会

令和4年3月4日開議

審査項目

- 1 議案第 4号 令和4年度竹原市一般会計予算
- 2 議案第 7号 令和4年度竹原市港湾事業特別会計予算

【建設部】

(令和4年3月4日)

出席委員

氏 名	出 欠
金 森 保 尚	出 席
下 垣 内 和 春	出 席
今 田 佳 男	出 席
竹 橋 和 彦	出 席
山 元 経 穂	出 席
堀 越 賢 二	出 席
川 本 円	出 席
井 上 美 津 子	出 席
道 法 知 江	出 席
宮 原 忠 行	出 席
吉 田 基	出 席
宇 野 武 則	出 席
松 本 進	出 席

委員外議員出席者

氏 名
大 川 弘 雄

職務のため会議に出席した者は、下記のとおりである

議会事務局長 笹原章弘

議会事務局係長 矢口尚士

説明のため会議に出席した者は、下記のとおりである

職 名	氏 名
建設部参事	大田哲也
建設課長	松岡俊宏
都市整備課長	広近隆幸

午前9時57分 開議

委員長（山元経穂君） おはようございます。

ただいまの出席議員は13名であります。定足数に達しておりますので、これより第5回予算特別委員会を開会いたします。

前回到引き続き、部ごとの詳細審査を行ってまいります。

本日は、建設部所管の審査となります。

本日の審査は、一般会計、特別会計の順に行います。

それでは、建設部参事より担当部所管事業について説明を求めます。

建設部参事。

建設部参事（大田哲也君） 本日は、委員長をはじめ委員の皆様におかれましては連日の個別審査で大変お疲れのところ、引き続き建設部所管の予算案につきまして審議をよろしくお願いいたします。

ここからは座って説明させていただきます。

それでは、お手元の当初予算案の概要版に基づきまして主な事業を説明させていただきます。

まず初めに、将来像1のにぎわいのあるまちの関係でございます。

概要版の17ページを御覧ください。

17ページの下段でございます。

景観形成推進事業でございます。

本事業は、先日の本会議にて議決いただきました竹原市景観条例と屋外広告物条例に基づきまして、重点地区における建築物の新築、改築等への民間補助を行うものでございます。また、新たに景観審議会を設け、景観形成に関して審議することとしておりまして、本市の良好な景観形成を推進してまいります。

次に、22ページの上段を御覧ください。

空き家対策総合支援事業でございます。

空き家問題の解消や移住・定住の促進を図るため、空き家の除却などに関する取組を総合的に支援するものでございます。事業の内容につきましては、空き家等対策協議会の運営、空き家の除却、改修、家財道具処分に対する支援、空き家の所有者調査等を行う予定にしております。これらの事業を推進していくことによりまして、空き家問題の解消や空き家の有効活用を図ってまいります。

次に、将来像4，安全・安心で快適に生活できるまちでございます。

40ページの上段を御覧ください。

県営港湾整備事業でございます。

本事業は、港湾利用者の安全性・利便性の向上を図るため、観光施設と港の連携や港湾施設の新設または改良を行うものでございます。事業の内容につきましては、忠海港において港湾整備に伴う建物の移転補償などに対しまして県営事業への負担金を支出するものでございます。

次に、41ページの上段を御覧ください。

市営住宅長寿命化事業でございます。

市営住宅の有効活用とライフサイクルコストの縮減を図りつつ、効率的かつ円滑な維持管理を推進するため、市営住宅の改修工事を行うものでございます。令和4年度は、第2丸子山住宅の大規模改修及び成井住宅の電気容量等の改修を行う予定としております。

続いて、41ページの下段を御覧ください。

市道交通安全対策事業でございます。

本事業は、市道における安全な歩行空間を確保するため、学校関係者や警察、道路管理者などで行った合同点検の結果に基づきまして通学路の危険箇所の解消に取り組むなど、通学路の安全性の向上や生活道路の機能性の向上を図るものでございます。令和4年度は、交差点の改修、カラー舗装、水路蓋の設置等を予定しております。

続いて、45ページの下段を御覧ください。

緊急自然災害防止対策事業でございます。

本事業は、災害の発生及び拡大を防止するため、河川整備や排水機場整備を行うものでございます。財源といたしましては、国の有利な財源である緊急自然災害防止対策事業債を活用するものであります。

最後に、重点テーマの災害復旧の関係でございます。

47ページを御覧ください。

上段は公共土木施設、下段は農林水産施設の災害復旧でございます。いずれも令和3年度の大雨で被災を受けた箇所の復旧事業についてであります。

まず、公共土木施設につきましては、社会生活に大きな影響があるなど緊急性の高い箇所から順次工事発注を行っております。

次に、下段の農林水産施設でございます。農地・農業用施設の災害復旧事業につしまし

ても、着実に復旧工事を実施してまいります。

以上で建設部所管の予算案の概要説明を終わります。どうぞよろしくお願いをいたします。

委員長（山元経穂君） それでは、建設部参事より説明が終わりましたので、質疑を行ってまいります。

まず、148ページをお開きください。

148ページ、149ページの農地費について質疑のある方はお願いいたします。

下垣内委員。

委員（下垣内和春君） 149ページ、農業施設整備に要する経費の修繕料130万円についてお伺いをします。

令和4年度当初予算案は、令和3年度の当初予算に比べたら60万円も減っているというのですが、令和4年度には何か所ぐらいを修繕予定されているかお伺いします。

委員長（山元経穂君） 建設課長。

建設課長（松岡俊宏君） 箇所数は、具体的には何か所とちょっと言えないのですが、昨年度の実績でいいますと、低い金額でいくと農道とか水路の維持修繕をここで行っているのですが、数万円から大きくいけば30万円以内で収まっているということもありますので、そういったところで優先度とかそういったところを見極めながら件数のほうを、対応するところの箇所を決めていきたいというふうに考えております。

委員（下垣内和春君） 地域の、特に農業者の方から要望はたくさんあるとは思いますが、当然やることになると負担金がどうしても出てくるということがあろうと思うのですが、負担割合について、農業施設の負担割合についてお聞きしたいと思います。

委員長（山元経穂君） 建設課長。

建設課長（松岡俊宏君） 受益を受ける農家のこの負担ということになるのですが、これは分担金徴収条例に基づきまして、農業用施設につきましては農道が10%、それからかんがい用水路、それからため池等については15%の負担をいただくというふうになっております。

以上です。

委員長（山元経穂君） その他ございませんか。

宇野委員。

よろしいですか。

その他ございませんか。

続きまして、150ページ、151ページ、樋門維持管理費について質疑のある方はお願いいたします。

宇野委員。

委員（宇野武則君） 151ページの1の12、樋門管理委託料ですが、これ何基分で、それから自動的にスイッチが入るようなものがこの中に何件あるのか。その点について。

委員長（山元経穂君） 建設課長。

建設課長（松岡俊宏君） すみません。何基分というのはどういう。

委員（宇野武則君） 箇所です。

建設課長（松岡俊宏君） すみません。箇所は、今の樋門管理委託料、12番ですよ、12番。委託料につきましては、今の吉崎、それから皆実、毛木、明神、中浦、築地の第1、第2の7か所ということでございます。一応、点検整備回数ということで1回から2回というところで、点検業務としては328万3,000円、それから皆実と毛木と吉崎の3か所につきましては樋門の電気施設の保安管理というところで業務委託料の54万2,000円、合わせて382万5,000円を予算として計上しているところでございます。あと、監視とか自動化というところでいけば、今の吉崎ですとか、今の毛木とか皆実、そういったところは既にもう監視カメラとか設置したところもございますけども、この樋門というのは管理人が高齢化しているという状況もございますので、そこは順次全ての施設について監視カメラで監視できるとか自動運転化とかそういったところで対応していきたいというふうに考えております。

委員長（山元経穂君） 宇野委員。

委員（宇野武則君） それでは、自動で入るといのは今の7か所の中にないのですね。

委員長（山元経穂君） 建設課長。

建設課長（松岡俊宏君） ちょっと待ってください。

委員長（山元経穂君） 答弁できますか。

建設課長。

建設課長（松岡俊宏君） すみません。自動のところは吉崎、それから毛木、それから築地第1、第2、それから毛木と中浦ということでございます。

委員長（山元経穂君） 宇野委員。

委員（宇野武則君） 一番障害が出るのが、ごみなのですね。そして、柏なんかでもごみ

を取るのにもう必死よ。それで、やっぱりごみがたまと排水能力がだっと低下して故障の原因にもなるし、ということでここを大雨警報が出た場合にどのように補填していくか、補助員もつけるとかというような横の連携を取っておかないと、去年も何か柏のほうも大分問題が出たというようなことだが、やっぱり被害が大きくなるからね。事前にやっぱりそういう体制をつくっておかないと、災害防止できるものが拡大するようなことにもなるのでね。特に、樋門管理人がやっぱりすぐ排水の体制を組んでもらえるようなことを日頃からしっかり指導しておかないと、30分ぐらい遅れるともう大概災害が相当拡大しますのでね。そこらをよく連携して、今年来なければいいのですが、この分だけは分からないから、ひとつよろしくをお願いします。

委員長（山元経穂君） 建設課長。

建設課長（松岡俊宏君） 今お言葉いただきましたとおり、しっかりとそういったところを連携しながら、我々もしっかり目を光らせながら対応していきたいと思います。

委員長（山元経穂君） その他ございませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

委員長（山元経穂君） ないようですので、次に林業費に入りたいと思います。

まず、林業費の1，林業総務費，152ページから153ページで質疑のある方はお願いいたします。

ございませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

委員長（山元経穂君） 続いて、林業振興費，152ページから155ページの末まで、このうち1，鳥獣被害対策に要する経費は除きます。この中で質疑のある方はお願いいたします。

松本委員。

委員（松本 進君） 153ページの治山事業，2，あと3，4はちょっと関連があるのですが、まずは最初に治山事業の分で確認を含めてお尋ねしたいのは，1，000万円強の治山事業であって，その中に400万円の負担金がありますよね。それでこの治山事業に関わる負担金ではないかということの確認と，それでちょっと特にここでいろいろ私も取り上げてきたのは，例えば三原市の状況を見ると，小規模崩壊地復旧事業の三原市の事業を見ると，竹原市の場合は40%の負担金になっていますけど，三原市の場合は15%の負担になっているわけですね。それで，特にここでお尋ねしたいのは，竹原市の分担金

40%というのはもう何十年前につくって、それが利用されていないということも指摘しましたがけれども、近隣で見るとさっき言った三原市では15%の負担を軽くしている。それは最近いろんな、御存じのように気候変動等も含めて災害が発生しているということでこの15%をまだ下げると、10%とかというのはもう県内でも聞いたことがあるのですが、要するに40%ではもう負担が限界だと、なかなか事業が進展していない、やりたくてもなかなか負担が多くてできないというのが、現実があらうと思うのですね。ですから、ここで聞きたいのは、早急にやっぱり予算が上げているけれども、やること自体はいいのだけれども、他市の、三原市の例を挙げましたがけれども、少なくとも15%への負担の軽減というのは早急に対応する必要があるのではないのかなと思いますが、いかがでしょうか。

委員長（山元経穂君） 建設課長。

建設課長（松岡俊宏君） まずは、負担金というところでこの予算の中で仕組みといいますか、こちらのほうが今回測量設計で200万円と新設改良事業で800万円ということと合わせて1,000万円ということになっております。一応地区としては長浜地区と下野地区を想定しております、この制度の仕組みとして、これは県の事業になるのですが、50%が県費負担、それから分担金としてその所有者の方から40%いただくと、残りの10%が市というふうになっております。確かに市のほうの分担金条例でそういうふうに明記されておまして、他市の事例を見ますと、東広島とかはたしか負担がもっと竹原市よりも高いという状況です。三原が、今、松本さんおっしゃられるように15%ということはございます。その辺につきましても、今後他市のその状況ですよね、そういったところをしっかりと踏まえながらその分担金の軽減というところをちょっと研究というか、していかなければならないかなというふうに考えております。

以上です。

委員長（山元経穂君） 松本委員。

委員（松本 進君） ちょっとこの件で追加しておく、指摘事項になるかも分かりませんが、ぜひ早急にやっぱり対応していただきたいと、負担の軽減をしていただきたいというのは、前にも185のときに1か所の崖崩れ、人家が1か所のところは39か所あるのですよね。これが未放置のまま現状のようにもう家が、もう崩してもそこへ住めなくなる、よそへ行かれた人とかいろんな状況があって、本来全部その対策を取って個人の負担がないようにしてほしいということも必要なのですけれども、今の制度の中では災害のと

き2戸以上は補助が出て本人負担なし、1戸以上はどうするのかというのがあって、繰り返し私も言ってきました。ぜひこういった現状をやっぱりその39戸の3年前の185の、4年前ですか、そういった豪雨の傷痕が残っているわけですから、そこらを含めてぜひこの緊急としては10%ぐらい下げるとか、40%を10%に下げるとかというのをぜひやっぱり取り組んでいただきたいというふうに指摘しておきたいと思います。

それから、次の分でちょっといいですかね。

委員長（山元経穂君） はい。

委員（松本 進君） ちょっと次のページなのでちょっと確認なのですが、人工林と里山の対策があって、ちょっと確認を含めてお尋ねしたいのは、この概要版でも33ページの上段に森林経営管理事業というのが約1,500万円、これは人工林対策ということでしょうけれども、予算化されています。それで、ここで確認したかったのが、市が所有している山といますか、森林があって、その管理についていろいろ要望を聞いたことがあるのですね。それで、要するにいろんな家のほうにいろいろ枯れ葉とか落ちないように、木のあれが落ちないように整備してほしいというのがあったが、なかなかやっぱりできなかったという経緯があって、そういった市の所有する整備、森林の維持管理はここにも入っているのかどうか、どこに入っているのかをちょっと確認しておきたい。

委員長（山元経穂君） 建設課長。

建設課長（松岡俊宏君） こちらの人工林に関する経費ということで、こちらのほう基本的には個人さんが所有していらっしゃる人工林に対して自分で森林整備ができるかできないかというところで、できないところに対して我々が援助をしてそういった整備をしていくということになっております。基本的にはそういう形と、あと整備というところと、こちら森林環境譲与税の今の基金というところでこちらのほうを充ててこの整備を行っていくのですけれども、基本的には今人工林に対する整備というところと、あとはそういった広島県産材を使った何か物を作ったりとかそういったものを設置するとかということと、あとは公共施設というところで例えば道路に何か覆いかぶさった木があるとかそういったところにも使えるような、若干使うその用途というのが少し緩やかになってくる状況もあったりしますので、そういったところを適切に今の維持管理とかそういったところにも充てていきたいなというふうには考えております。

委員長（山元経穂君） 松本委員。

委員（松本 進君） ちょっと確認というのは、ちょっと今私が言ったのは、市が所有す

る山があって、それがたまたま近くに家があって、ちょっと整備してほしいよという要望、そこにも当時言ったときはなかなかそのお金がないというか、予算化されていないというのがちょっと聞いていたので、そうではなくて、ここのを含めて対応できそうなのか、できるというのか、というような感じで捉えていいのですか。

委員長（山元経穂君） 建設課長。

建設課長（松岡俊宏君） こちらで、もし今私が説明したように公共施設とかそういう絡みがあるのであればそういったことも対応できるかも分かりませんし、もしそういう要望があれば、ほかの例えば予算を使って対応をすることも可能かなという部分があります。

委員長（山元経穂君） 松本委員。

委員（松本 進君） 今ちょっと公共施設という言い方されるのだけれども、私が言うのは、のり面があって、市が所有した山があって、その竹とか木とかそういう枯れ葉などが落ちて、そののり面の下の近くにある個人の家とか人家が、といたかいろんな分で何とかならないかなということでもちょっとお尋ねしたときは、その市の維持管理費、そういった枯れ枝を切るとか、今極端にいったらならないと言われたのですよね。だから、今の分は公共施設と言われるけれども、個人の施設なんかはどうなのかなと。そこは一定の幅、余裕が持たれてそこにも対応できるというなら、それで今再度ちょっと確認しておきたい。

委員長（山元経穂君） 建設課長。

建設課長（松岡俊宏君） 市の山とかというところが、所管がどこになるかによってまたその取扱いも変わってくるのかと思います。例えば建設課ということであれば、それは当然そういった現地を見て、必要に応じて適切に管理するということになります。

委員長（山元経穂君） 松本委員。

委員（松本 進君） ちょっともう3回でやめておこうと思ったのだけど、所管のどこどこではないのよ。市民から見たら、市が所有している山ですよ。だから、市民から見たらそれは何課か分からないわけよね。だから、いろんなところ行ったらしいけど、行かれたらしいのだけれども、なかなかやってくれなかったということで本当に困っておられて、そういう今言われるのはどこの所管か分からないではなしに、そこは今総務課の分だったのだけど、行かれたのは建設課というところに行かれたらしいけど。だから、市が所有しているのは総務課だけでも、お金、維持管理費がないと言われるから、それはこういった分に対応できるのなら、ぜひやっぱりしてもらいたいということで、部長がちょっ

と答えてくれる。

委員長（山元経穂君） 建設部参事。

建設部参事（大田哲也君） 基本的には、市の山であれば市が管理するのは当然のことで、その内容につきましては具体的にまた協議させていただいて、市のできる範囲で対応させていただきたいと思います。

以上です。

委員長（山元経穂君） 宮原委員。

委員（宮原忠行君） 私も財産管理もした経験もあって、基本的に市有林は財政課の中の財産管理がしていたよね。そして、松本委員がおっしゃっておられるのがどこかは大体あそこら辺ではないかなという気がするのだが。恐らくなのだけど、財政課のほうでどこまで対応するかは知らないよ、この中に入ってないだろう、この予算の中に。そうだよ。入っていないよね。その確認をはっきり答弁して。

委員長（山元経穂君） 建設課長。

建設課長（松岡俊宏君） 入ってございません。

委員長（山元経穂君） その他ございませんか。

宇野委員。

委員（宇野武則君） 155ページの4の12，里山林整備委託料，これは業者に出すのだろうと思うがどこへ出しているのか分かっておりますか。

委員長（山元経穂君） 建設課長。

建設課長（松岡俊宏君） こちらの里山林の整備委託料ということで580万円計上しております。こちらのほうは大きく分けて5つ分けてございまして、まずは竹林の繁茂防止整備というところと、あと有害鳥獣の被害防止バッファゾーン、それから減災・防災型の森林整備事業ということと、あとは森林、それから林業体験活動ということを予定しております。今のバッファゾーンとか森林の繁茂防止整備につきましては、今の業者のほうに委託を出すことにしております。そのほか、減災・防災の森林整備事業というところも要望に応じて今業者のほうにその箇所を委託して整備していただくと。あと森林とか林業の体験活動といいますのは、これは毎年小学校を限定に今のそういった木材を使ってベンチとかテーブルを作ったりとかそういったところに充てているという状況です。

委員長（山元経穂君） 宇野委員。

委員（宇野武則君） 金額からいったら、すごく広範囲にやっているとなかなか事業効果

がどうかのと思うのだが、現実に非常に竹林が生えて、御承知のように竹林というのは表層雪崩が非常に高いのでね、率が。根が下へ入らないのよね。崖のあそこの県道も非常に危険なところたくさんありますね。シルバーなんかはもう年配の人が多いから、ああいう危険なところは手が出ないということなのですね。やっぱり専門的にお願いするなら、やっぱり集中的にそこらを除去して、予算を投入していかないと、どこも皆中途半端になってきて、伸びるほうが早くなるからね。竹は毎年1つの根から何本も生えるわけだから。そこらを計画的に、集中的に危険なところから工事をやっていかないと、これだけの予算ではなかなか見込みがないと思うのですが、そこらの点について。

委員長（山元経穂君） 建設課長。

建設課長（松岡俊宏君） 御指摘のとおり、そういった危険な箇所とかやっぱり市内のほうでも今言われたところ等を含めてかなりありますので、そういったところも含めて適切にこの予算のほうを使っていくような、また計画的にそういった箇所を定めて整備していったらというふうに考えております。

委員長（山元経穂君） 宇野委員。

委員（宇野武則君） 県も道路周辺の草刈りとか年間発注していますよね。そこらとよく連携取って、効果があるような事業をやってください。お願いします。

委員長（山元経穂君） 答弁よろしいですか。

その他ございませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

委員長（山元経穂君） ないようですので、続きましてページめくっていただいて、水産業振興費、1番ですね、水産業振興費に入りたいと思います。

156ページ、157ページ上段ですね、このうち1、水産業振興費に要する経費のうち、18番、漁場基盤改良事業補助金のみについて質疑をお願いいたします。

ございませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

委員長（山元経穂君） 続きまして、その下、2番、漁港管理費について質疑のある方はお願いいたします。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

委員長（山元経穂君） 続きまして、その下、3、漁港建設費で、このうち、156ページ、157ページ、2番、漁港整備に要する経費についてのみ質疑のある方はお願いいた

します。

宇野委員。

委員（宇野武則君） あれは、去年は設計費を組んでいたと思うのですが、今年これは工事が実施されるということでは言っているのですか。吉名と長浜ですかね。

委員長（山元経穂君） 建設課長。

建設課長（松岡俊宏君） おっしゃられるとおり吉名と長浜、進めていきます。

委員長（山元経穂君） よろしいですか。

その他ございませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

委員長（山元経穂君） ないようですので、続きまして商工費に入ります。

158ページ、159ページの1、商工総務費のうち、4、工業団地に要する経費のうち、この中の10、修繕料の一部について、これについて質疑のある方はお願いいたします。

ございませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

委員長（山元経穂君） 続きまして、土木費に入ります。

164ページから167ページの末まで、このうち土木総務費、164ページから167ページの末まで、このうち1、人事管理に要する経費を除く部分で質疑をお願いいたします。

ございませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

委員長（山元経穂君） 続きまして、168ページ、道路橋梁費、1、道路維持費、168ページ、169ページで道路維持費、1番の、質疑のある方はお願いいたします。

下垣内委員。

委員（下垣内和春君） 169ページ、2番の緊急もいいのですかね。

委員長（山元経穂君） はい、大丈夫です。

委員（下垣内和春君） すみません。2番の緊急自然災害防止対策に要する経費について、12番の測量設計委託料200万円、14番の維持補修工事1、800万円についてお伺いをさせていただきます。

これは、この事業は応急措置としての大型土のうを設置している崩土流出箇所について

防災措置を行う事業であろうと思います。竹原市全体で何か所の応急措置をするのか、そういうところがあるのか伺うことと、令和4年度には何か所実施されるのかお伺いいたします。

委員長（山元経穂君） 建設課長。

建設課長（松岡俊宏君） 今いただきました御質問ですけれども、こちらのほうは市内で今全体的に把握しているところが約15か所ございます。そのうち、今年度は4か所を施工するという予定でしております。

以上です。

委員長（山元経穂君） 下垣内委員。

委員（下垣内和春君） 4か所は今年度実施するということなのですが、そこに残った11か所はどのようにするのですか。それも災害等の関係であればしっかりと応急措置をしなければいけないのだと思うのですが、それについてお伺いします。

委員長（山元経穂君） 建設課長。

建設課長（松岡俊宏君） 今年度も4か所ということですが、年4か所で施工していくという、そういう計画でございます。

委員長（山元経穂君） 下垣内委員。

委員（下垣内和春君） 年4か所ということなのですが、緊急性をですね、どうしても災害の発生リスク大変高いし、そういうところこそ災害する可能性高いので、事業としてもそうですが、やはり以外のところについても積極的に対応できるような形をスピード感を持って対応していただきたいと思っておりますので、よろしくお願ひします。

委員長（山元経穂君） 答弁よろしいですか。

委員（下垣内和春君） 答弁よろしいです。

委員長（山元経穂君） その他ございませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

委員長（山元経穂君） ないようですので、次、2番、168ページ、169ページ、171ページの上段まで、道路新設改良費について、そのうち1、人事管理に要する経費を除いた部分について質疑のある方はお願ひいたします。

金森委員。

委員（金森保尚君） 169ページ下段の2番、道路整備に要する経費の14番、新設改良工事4、300万円の中に含まれると思うのですが、概要の41ページにありました市

道交通安全対策事業予算が2, 100万円, これの予算について御質問します。

中通地区とあるのですけども, 確かにこのところは中学校区の通学路になっていると思います。軽いカーブとかあって見通しが悪いという面であるのだと思うのですが, 実際にカラー表示をされるとあります。どのようなカラー表示がもし既に分かればお尋ねいたします。

委員長(山元経穂君) 建設課長。

建設課長(松岡俊宏君) 先ほどありました市道中通1号線外2路線の交通安全対策事業というところがございます。

こちらのほうは, 測量設計委託料400万円, それから新設改良工事が1, 300万円, それから用地取得400万円を一応計上しております。このうち, 新設改良費の1, 300万円につきましては, 交差点の形状の改修と, それから交差点のカラー化, それから舗装, 水路蓋を一応工事の内容としております。このうち, 交差点のカラー化ということにつきましては, 道路の端のほうに緑色で歩行者と車が分離するような色で分けたカラー塗装を一応想定しております。そのほか, 交差点の真ん中にちょっと色は黄色になるか分かりませんが, 注意喚起するような, そういったゾーン化したような四角のそういったカラー舗装をするような, そういう計画でございます。

以上です。

委員長(山元経穂君) 金森委員。

委員(金森保尚君) 非常に効果があるような感じを受けます。この地区も住宅が増えて, この登校時の時間帯, 車の往来が結構増えている状態にありますので, 生徒さんにとっても安全に登校できるような内容になっていくのではないかなというふうに感じております。ぜひこういう展開も広めていただければいいかなと思います。

以上です。

委員長(山元経穂君) 答弁よろしいですか。

委員(金森保尚君) はい。

委員長(山元経穂君) その他ございませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

委員長(山元経穂君) ないようですので, 続きまして170ページ, 171ページの末まで, 橋梁維持費について質疑のある方はお願いいたします。

井上委員。

委員（井上美津子君） 橋梁維持費の2番ですね、維持改良に要する経費の中で維持補修工事、それからその前の設計委託料、これに関して長寿命化を計画されておりますけども、それに基づいてやられているとは思いますが、このたびはどこの橋梁を対象にされているのか教えていただきたいと思います。

委員長（山元経穂君） 建設課長。

建設課長（松岡俊宏君） こちらの予算のほうは8,000万円ということでございます。測量設計費として1,000万円、それから今の維持補修工事として7,000万円という計上をしております。こちらのほう橋梁点検によって健全度の低い橋からということで、西野町の相生橋、それから東野町の武田橋、それから田万里町の竜王橋、それから吉名町の郷橋、それから竹原町の本川橋の5橋について補修工事を一応予定しております。

以上です。

委員長（山元経穂君） よろしいですか。

その他ございませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

委員長（山元経穂君） ないようですので、続きまして河川費に入りたいと思います。

172ページから173ページの末まで、河川総務費について質疑のある方はお願いいたします。

松本委員。

委員（松本 進君） 173ページの3の緊急自然災害防止と4の緊急浚渫というのがありますが、概要版にもそれぞれ大枠では河川、護岸とか排水機とか書いてあるのですが、具体的にどこをどうするのかというのをちょっと教えていただけますか。

委員長（山元経穂君） 建設課長。

建設課長（松岡俊宏君） 緊急自然災害の3億5,000万円というところでございます。こちらのほうは、測量設計委託料として4,000万円、内容は皆実排水機場の増設の設計、それから毛木地区の調整池の築堤の設計、それからこれ西野町ですかね、宝器川河川改修設計がそういった委託料のまず内容です。

次に、新設改良工事費としての3億円につきましては、大王地区の管渠築造工事、それから大王地区の排水機場の建設工事などが含まれております。

次に、用地取得費といたしまして1,000万円計上しております。こちらのほうは、

東野地区の山田川の排水機場の用地取得を一応予定しております。

以上でございます。

失礼しました。緊急浚渫事業のほうですね、こちらのほう1億5,000万円というところでございます。4年度の箇所につきましては、河川、悪水だめの浚渫として大乘川、福田町ですね、それから同じく福田町の東川、それから竹原町の築地の排水機場、それから吉名の平方樋門、それから吉名町の毛木排水機場について浚渫を行うこととしております。

以上でございます。

委員長（山元経穂君） よろしいですか。

その他ございませんか。

堀越委員。

委員（堀越賢二君） 浚渫に関することではありますが、河川のほうで災害の土砂の浚渫ということで、竹原市内数多くの川がある中で川の形状とかによってただ単に護岸の修理ということでなくて、浚渫だけすればいいということでなくて、その浚渫をする工事と併せてすべき工事というものが多かれ少なかれ発生すると思うのですが、前回浚渫をしていただいてもまた次の雨でまた同じくたまってしまったという箇所について、今回のこの中には計画には載っていないのですが、そういう箇所についてはどうお考えでしょうか。

委員長（山元経穂君） 建設課長。

建設課長（松岡俊宏君） 緊急度とかそういったところを含めて計画的にはこういう順番でやるようにしているのですが、今堀越委員さんの御意見を踏まえて、そこらをしっかり見極めて適切に対応していきたいというふうに思います。

委員長（山元経穂君） 堀越委員。

委員（堀越賢二君） 実際に住民の方からの声というものも届いているところについては、二度手間とは言いませんけれども、そのときに県との調整等もあるとは思いますが、しっかりとした対応をしておけば済んでいた事業もあるのではないかというふうに考えますので、今後の工事に関してはそういうことのないように、またそういう箇所が残っているのであれば早い時期に改修ということもしていただきたいと思いますので、今年度の予算の部分には載っていないところなので、その部分は河川の状況とか併せて、地域の声も併せて、作業、工事のほうをしていただきたいと思います。

委員長（山元経穂君） 答弁よろしいですか。

その他ございませんか。

宇野委員。

委員（宇野武則君） 173ページはいいですか。

委員長（山元経穂君） はい。

委員（宇野武則君） 3の12，測量設計委託料4,000万円ですが，30年災害からずっとこれ相当手直しがあって，そこらの工事が3か月，4か月遅れたのはざらなのですが，そこらの測量設計のどこに原因があってそういうふうに設計ミスがあったのかというようなことは分析されているのですか。

委員長（山元経穂君） 建設課長。

建設課長（松岡俊宏君） 設計ミスですか。すみません，ちょっと質問の意図が。もう一度。

委員長（山元経穂君） 宇野委員。

委員（宇野武則君） 測量の30年の折には相当緊急に出たから，今やっているところでも設計ミスがあって，手直しが物すごく出たわけよ，数が。それはいくら緊急だといっても，やっぱり手直しがあってはいけないわけだから，そこらの原因が調査されているのかなというような思いがあるから聞いている。

委員長（山元経穂君） 建設課長。

建設課長（松岡俊宏君） 以前，常任委員会の中でも何かそういった質問があったと思うのですが，そこはこういった原因があったかというところでいけば，それが理由になるかどうかというところはあるのですが，やはり緊急的にやらなければならなかったということと技術的には職員が皆さん頑張ってやっていたということもありますし，原因が実はこうなのだということは，ずばり言えるかどうかはちょっと分からないのですが，そこはそういった経験を積んで今後その辺も生かして適切に設計のほうをしっかりと見ながら対応していきたいというふうに考えております。

委員長（山元経穂君） 宇野委員。

委員（宇野武則君） 今やっているところも，県工事でも大体5か月ぐらい遅れているわね，受注してから。設計が全部原因なのよ。だから，そこらは設計業者もやっぱり密度の高い設計をしてもらわないとやっぱりこういうふうな工事，5か月延びたら割高になりますからね，そういう面も含めて。設計ミスだけではない，工事費に全部かかってくるからね。そこらはやっぱり発注する折にある程度手間かけても，いくら緊急だといってもレベ

ルでだだっ取ってさっ出すのではなく、やっぱり見えないところがこの災害の場合はあるわけだから、護岸の見えないところがね。そこらも含めてやっぱり少し手を入れて設計してもらわないと、パーセンテージからいったら相当の件数よ、設計ミスが原因で工事が遅れているのが。そこら辺もよく注意してやってください。

委員長（山元経穂君） 建設部参事。

建設部参事（大田哲也君） 今の御質問は、多分災害での発注が工事に入ると変更が多いということだと思いますが、この災害については、災害が起きて1か月以内に設計をして、査定を受けて、基本的には設計書を作成するという短期間での作業になります。その中で、言われるように変更があってはならないというのは言われるとおりではございますが、その短い間での設計ということでそういうのが起こり得るということですが、御指摘のようにそれは設計変更が極力ないような形で作業を進めていきたいと思っております。

以上です。

委員長（山元経穂君） 宮原委員。

委員（宮原忠行君） 状況はよく分かるのよ。だが、しばしば実際設計どおりにやったら、現場では不都合なことがあるというのはしょっちゅうあるわね。あるでしょう。だから、一つはそれ、私は設計ミスとは思わないのよ。むしろ設計が出たときに実際施工をする段階になって、この設計書でいいかどうかという、その確認は、私は精査はしなければいけないのではないかと思うのよ。一緒のことだから、後で出た、その場でやった、設計変更出てくる、現場に行ってまた調べたりしていろいろしないといけないよね。これも手間よね。その設計書が出た段階で、その成果品として受け取るときに現場を確認して、実際に施工する段階になって設計変更が生じるようなことがないかどうかの確認はできるのではないかと思います。この点について建設課長どう思われますか。

委員長（山元経穂君） 建設課長。

建設課長（松岡俊宏君） 確かに宮原委員さんおっしゃられるとおりだと思います。その辺の確認はしっかりしながら、我々は進めていきたいというふうに考えております。

委員長（山元経穂君） 宮原委員。

委員（宮原忠行君） 少なくともどこで手間暇かけるのかというのがあろうけれども、例えば橋であれば見えないところがいっているようなこともあるのよ。それを確認するだけだったら大したことないのだから、そうしたことも踏まえて。設計書を受け取って、委託して、そしてそれが設計ミスよというような指摘を受ければ、職責上の問題が出

てくるのではないかと思うのよ。だから、くどいようだけれども、少なくともやっぱり実施設定というか、を前提にして測量委託の成果品を受け取るような努力をしてほしいと思います。これ、要望しておきますから。答弁いいです。

委員長（山元経穂君） その他ございませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

委員長（山元経穂君） それでは、河川総務費を終えて、次に港湾管理費に入りたいと思います。

まず、港湾管理費、1番、174ページから175ページ、ページ頭から中段まで、港湾管理費について質疑のある方はお願いいたします。

宇野委員。

委員（宇野武則君） 175ページの1の12、海の駅指定管理委託料800万円。これは食堂も一緒に経営するようになっていると思うのですが、去年は全く営業していないと思うのですが、こういうような精査はどういうふうに行われているのですか。

委員長（山元経穂君） 建設課長。

建設課長（松岡俊宏君） 海の駅の3階のレストランの件だと思います。こちらのほうは今指定管理ということで、竹原海の駅につきましてはいいねさんのほうに指定管理ということで出しております。その指定管理に出したいいいねさんのほうから、その3階は店舗として貸し出している。その家賃が今のそのいいねさんのほうに入ってくるという状況です。売上げのほうは、確かにいいねさんのほうが令和元年8月から指定管理がスタートしたということもございますけれども、昨年とかはやはり今のコロナの影響とかそういったところで売上げがかなり落ちているという状況もあります。そういったことを踏まえて定期的に、定期的に今いいねさんのほうから指定管理というところで、1階の例えば売店でありますとか2階の公共施設スペースの貸出状況とか3階のレストランの集客数とか売上げ、そういったところの報告を毎月受けているという状況で、令和2年、3年につきましては確かに営業がなかなか通年にわたってできたかどうかといえ、やっぱりまん延防止の措置ですとか、今回ありましたけれどもあと緊急事態宣言といったところを受けてなかなか通常の営業ができなかったというところが状況でございます。

以上です。

委員長（山元経穂君） 宇野委員。

委員（宇野武則君） 私は、月に二、三遍は行くのですよ。そして、非常に人気悪いのよ

ね。そして、島のクルマエビなんか売っているのですが、従業員の方、向こうの会社の電話も知らないのだから。そして、800万円委託しているわけだから、この委託というのはいいね竹原のためにやっているのではないのよ。利用している観光客やフェリーを利用しているようなお客さんのためにあるのだから、この店は。だから、これは去年もそういうようにほとんど委託していないよ、あの食堂は。同じような800万円だが、ほかの事業は下げているでしょう、利用客がいなくなったら。今まで予算やった中でだんだんだんだん下げている事業もたくさんあるのよ。そして、これ今の食堂やったら、この800万円の中の半分ぐらいは食堂のほうの経費が入るのではないですか。あそこは今2人女の子いるのだね。昨日、一昨日も私は早く行ったら、8時過ぎに現場行ったのですが、1人の40歳ぐらいの女の人が在庫の帳面をつけていたがね。やっぱりここは利用するお客さんのために委託しているのだから。いいね竹原の人はそこの前川の酒屋さんが中心にやっているというのですが、だからよその酒も多いのよ。基本的に竹原市の市民の税金使うのだから、やっぱり市民のための営業をやらしてもらわないと困るのよ。だから、酒なんかでも3社あるのだから、主体的には竹原市の酒を販売するというを原点に置かないとね。東北のほうだ何だというような酒を置いてもらわないでもいいわけよ。東北のほうは東北のほうへ行った折に買えばいいわけだから。そこらのこの間のほかの仕事も、竹原市の今委託しているところも皆そうなのだが、やっぱり誰のためにやっているかということをもうちよっと原点へ帰って。私は何遍か行くのですが、ほとんどいいね竹原の関係者誰もいない。だから、内容がよく分からないのよ。そして、皆ほかの仕事を主に持った方ばかりだから。そういう関係でここらはやっぱりある程度の決算の折に整理しないといけないわ、仕事やっていないわけだから。実際は、夜の食堂でも前もってのあれがなければしないといって、食堂だから1,000円や2,000円の仕事、予約があっても開店できないでしょ。ここはずっと開店しているからお客さんが来るわけよ。一々御飯食べるのに予約してから来る者はいないはずなのだ。だから、ここらはやっぱりもうちょっと中身のある予算にしていかないと、実際にこういう経営で目いっぱい補助金出すというのは、経営者がなかなか真剣にならないのよ。もうけなければ倒れるのだというようになったら、必死でやるのよ。だから、そこらの委託というのは、どこまでやらしてもらってお客さんのためにどういうふうサービスしてもらってこうだというようなことをしっかり中身を検討しないと、なかなかこういうところは全部皆さん仕事持っているから行かないのよ、あつちは。女の人2人にまかせて。今言うようにエビを売っているのにエビの販売所

の電話番号知らないようなことでは駄目だわ。駄目だと思うよ。今、竹原の製品ほとんどないからね。あそこの二窓の郷土館の瞬間冷凍のような品物は、メバルとかタコとかというようなものがいくらかありますよね。ほとんどよそのものを販売しているのですから、そこらも含めて経営形態をもうちょっとやり直して、しっかりいいね竹原、市長の後援会長さんも監査でおられるのだから、やっぱりそこらはもうしっかりやってもらわないと。食堂もやらないのに去年と同じような800万円を予算組むというのは、ちょっと問題があると思う。

委員長（山元経穂君） 答弁いいですか。

その他ございませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

委員長（山元経穂君） 続きまして、174ページ中段から下段まで、175ページの末まで、港湾建設費について質疑のある方はお願いいたします。

下垣内委員。

委員（下垣内和春君） 175ページの県営港湾整備事業に要する経費の18番、県営港湾整備事業負担金8,225万1,000円についてお伺いします。

内容につきましては、当初参事のほうから説明をいただきましたのでよろしいのですが、来年度どのような工事をされるのか。それと、ちょっと私イメージが湧かないのですが、忠海港周辺どのようになるのかということについてお伺いをさせていただきます。

委員長（山元経穂君） 建設課長。

建設課長（松岡俊宏君） 県営港湾整備に要する経費8,225万1,000円でございます。こちらのほうは、令和4年度は物件の移転補償ということで建物の移転補償の算定を行うこととしております。あと、忠海港は今そういう形で移転補償の関係と、あと二窓地区のほうも事業損失補償というところで、埋立工事に伴って沈下による家屋の事業損失が出ておりますので、その補償も入っております。今、その忠海港の状況がどういうふうになるかということですが、ちょっと今図面がないのですけれども、忠海港、港のほうに向かって線路を渡って、海沿いに道路が真っすぐアヲハタのほうに向いて通っていると思うのですが、そこが今駐車場からトラックがあのかの辺結構頻繁に通るのですが、歩行者が渡るに当たって非常に安全性に問題がある、危ないというところから、その道路の線形とか法線を線路側のほうに振ったような形で、今県のほうが整備をこれから行っていくこととしております。それに伴って、現在の今線路側にあります駐車場が

かなり広がる。当然あの辺にあります建物は移転とか取壊しということになっていくので、その辺が駐車場としての確保、台数としてかなり増えるのではなかろうかということでございます。そういった大体イメージでございます。

委員長（山元経穂君） 下垣内委員。

委員（下垣内和春君） 分かりました。

それと、負担金についてお伺いしますが、広島県の建設事業負担金条例に基づく負担金ということになって、その内容についてお伺いします。

委員長（山元経穂君） 建設課長。

建設課長（松岡俊宏君） まず、2種類メニューがございまして、交付金に関わる部分につきましては事業費の4分の1が竹原市のほうで負担することとなっております。それから、県のほうの単独事業としてのメニューのほうは、竹原市のほうは事業費に対して3分の1を負担すると、そういった基準になっております。

以上です。

委員長（山元経穂君） 下垣内委員。

委員（下垣内和春君） それと大体何年ぐらいをかけてこれやる予定なのかを最後に教えていただけますか。分かる範囲でいいです。

委員長（山元経穂君） 建設課長。

建設課長（松岡俊宏君） 忠海港のほうにつきましては、令和8年で一応完了する予定で計画しております。

以上です。

委員長（山元経穂君） その他ございませんか。

ございませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

委員長（山元経穂君） 議事の都合により、11時10分まで休憩いたします。

午前11時01分 休憩

午前11時11分 再開

委員長（山元経穂君） 休憩を閉じ議事を再開いたします。

続きまして、176ページから179ページの中段まで、都市計画総務費でこのうち、1、人事管理に要する経費を除く部分で質疑のある方はお願いいたします。

金森委員。

委員（金森保尚君） 179ページ，7番の中の12番，竹原駅前エリア社会実験支援業務委託料76万円に関係すると思うのですが，概要の22ページにあります，竹原駅前にぎわい空間再生事業について伺います。

予算額は154万8,000円が竹原駅前にぎわい空間再生事業の本年度の実施内容がもう既に決まっているのであればお願いしたいと思います。

委員長（山元経穂君） 都市整備課長。

都市整備課長（広近隆幸君） まず，この竹原駅前にぎわい空間再生事業についてですが，これは令和2年度から行っておりますけど，竹原駅前の低未利用地の活用を図って，エリア全体で市民や来訪者にとって居心地がよく歩きたくなる空間を創出し，にぎわいを再生していこうという事業であります。今年度につきましては，駅前のあいふる通り，そこに3つのゾーンというものを設けまして，屋台であるとか壁面アート，あるいは昔の懐かしい竹原の写真の投影でありますとか子供が遊べるアクティビティーなどを設置をしたりとか，あとスポーツが楽しめるということでバドミントンでありますとかスリー・オン・スリー，バスケットボールの小型版ということになるのですが，そういったもので行っております。内容につきましては，いろんな企画等をアドバイザー等も入っていただいております。内容につきましては，いろいろな企画等をアドバイザー等も入っていただいております。そういった旅費でありますとか報償費でありますとか，またこの実施に伴いまして発注する社会実験支援業務ということで予算のほうを支出しております。

委員長（山元経穂君） 金森委員。

委員（金森保尚君） 商店の方に一応聞いてみたのですが，どんなですかと聞いてみたのですが，やはりこういうことをやっていただけるのは非常にありがたいことなので，どんどんやってほしいというお声をいただきました。また，議員さんとかも市の方もどんどん来ていただければいいなという声もいただきましたので，みんなで参加していきたいなというふうに感じました。

以上，終わります。

委員長（山元経穂君） 今田委員。

委員（今田佳男君） 177ページから179ページにかけて数字が細かく分かれています，概要版でいくと22ページの空き家対策総合支援事業と，これが竹原協議会の運営とか5項目いろいろ書いてあって，全体で総合事業としてやっていこうという流れだと思えるのですが，先般質問させていただきまして，空き家バンクが従来産業振興課から恐らく4月以降になると思うのですが，都市整備課へ移管というか，所管替えにな

るというような話も聞いております。その空き家バンクに絡んでいくと、移住支援拡大推進事業では空き家バンクへの登録を促すというふうなことも書いてあって、空き家バンクに対して非常に負荷がかかるというか、頑張ってもらっていただかないといけないのですが、新しい仕事が増えて大変だと思うのですが、どんどん登録を増やしていただいて活発に空き家の解消に向けて頑張ってもらいたいと思うのですが、この点どうですか。

委員長（山元経穂君） 都市整備課長。

都市整備課長（広近隆幸君） 空き家につきましては、確かにこのたび来年度以降、5年間ということで今年までの計画が期間満了しましたので、新たな空家等対策計画ということで5年間取り組んでいくということで、全国的に空き家が非常に増えてこういったものが倒壊とか衛生上、景観上もよくないということで、基本的には個人の財産ではあるのですが、そういった危険な状態にあるということで自治体等も計画を策定して、いろんな周知等もする中で、補助制度も設ける中でこの空き家を何とか解消していこうということで、来年度から確かに都市整備課のほうで空き家というくくりで改修でありますとかそういった活用も含めて都市整備課に所管される、移管されるということで来年度そういった体制も整備されると思いますので、これまで以上にしっかり取り組んでまいりたいと考えております。

委員長（山元経穂君） 今田委員。

委員（今田佳男君） 頑張ってもらいたいと思うのですが、移住人口拡大支援推進事業に空き家バンクという項目が出てきてまして、これは企画政策課の担当になると思うのですよ。だから、連携を取っていただいてこの空き家バンクに登録を促すというふうな、移住のほうはそういうふうな項目になっていますので、ぜひとも頑張ってもらいたいと思います。よろしくお願いします。

委員長（山元経穂君） 答弁は。

委員（今田佳男君） いいです。

委員長（山元経穂君） 堀越委員。

委員（堀越賢二君） 179ページの先ほどもありました竹原駅前エリアの社会実験の部分であります。こちら令和2年度からの事業でパーキングデーの事業なのかなと思うのですが、令和2年9月、令和2年度内においてはこれとは違うかもしれませんが、スマイルパークであったりとか、令和3年は10月にパーキングデーの開催ということで今回3回目の開催という形になるかと思うのですが、3年目として社会実験という

ことでありますので、その都度天候であるとか今のコロナの影響であったりとかということもかなり大きくは影響されているとは思いますが、参加者を見ると市内の方だけでなく市外の方であったりとか、年齢層においては幅広い年齢の方が楽しめる空間の提供というか、そういう形でのものであったというふうに思います。これには積極的に市の職員の方も事前の準備であったりとかも参加をしていただいて、官と民がうまい具合にバランスよく事業実施というか、それに向けてできているのではないかなというふうには感じています。今回3回目を実施していく、秋口になるのかとは思いますが、そういった中で継続事業として今後もしていくための何かまとまったものというか、今は公園の計画であったりとかそういうこともありますので、そこら辺も含めた何かビジョン的なものが今回見れるのかどうかということをお伺いします。

委員長（山元経穂君） 都市整備課長。

都市整備課長（広近隆幸君） 過去2年、駅前でのこういった取組を進めておりまして、アンケート調査でありますとか委託業務の中での検証というふうなことでも反省点もありますので、そういったことで一応来年度の取組としまして、これがあくまで一過性のイベントではなく、やはり駅前が日常的に滞留空間でありますとか人が増えてくる、そういったことが目標となりますので、来年度につきましては市のほうへ主体というものもあるのですが、やはり駅前商店街の方、あるいは自治会長さんでありますとかそういった協力的な方々もこれまでの取組で上がっておりますので、こういった方々にどちらかといえば今後主体的に盛り上げていってもらおうということで、来年度できれば月1回程度そういった民間のほうの主体というような形での開催ができればというふうに考えております。それから、新たな取組としまして駅前のほうをかなり、これまで屋外でのそういった催しがありますとかそういった取組だったのですが、空き店舗のほうもかなり出てきておりまして、こちらのほうの景観計画でもそういったところが計画の阻害要因となっているので、そういったところの取組も併せまして空き店舗を何とか活用できないかというふうなこと。それから、滞留時間ということありますと飲食店との連携ということで、やはりそういった来訪者のニーズが非常に高い、それから滞留時間も長くなるということでそういった飲食店の連携について新たに取組ができればということで、この3点を取り組んでいきたいと考えております。

委員長（山元経穂君） 堀越委員。

委員（堀越賢二君） 名称こそ駅前エリアというふうになっていますが、事業の本質とし

たら竹原市の全体的な広がりをお求めしているのではないかと思います。そういった中で、令和3年度において道の駅を、バスとっていいのか、乗り物にしてもそういう竹原市内を回遊するような事業もされていて、ふだんなかなか目にしないようなものなのでそれに乗られた方の評判もよくて、駅前だけに限らず様々なところを結んでいくいい事業にしなくてはいけないと思うのですよね。これが今後、駅前であれば駐輪場の整備もされていますし、今後今開拓工事が始まっている公園になるであろうその場所であったりとか徐々に駅前エリアということではありますけど、そこを中心とした広がりというものを今の既存の竹原市の持っている施設をつないでいって回遊をしてもらおう。竹原市に滞在をしてもらえ時間、もちろん市民が憩いの場で楽しむということももちろんですけども、市外からの方の入り込み数も増やしていく。そういったようなものにして竹原市の魅力を発信する事業でないといけないと思いますので、継続していくためにも、先ほど今までの事業とは違いますけれども、月1回の開催という方向性もおっしゃっていただいたので、しっかりと広がりを持つ事業として、回遊性のある事業として広げていっていただきたいと思いますが、その点についてはいかがでしょうか。

委員長（山元経穂君） 都市整備課長。

都市整備課長（広近隆幸君） 今年度回遊性ということでは言われたのですが、事業者のほうから提供を受けましてゴルフ場のカートのようなグリーンスローモビリティという乗り物なのですが、こちらのほう3日間で延べで351人乗車していただいたということで、そういったことも影響してこの3つのゾーンで行いました昨年と比較しまして立ち寄り者の数で言えば、昨年度が1,284人から今年度は2,461人ということで約9割ぐらいい増加しているということで、結果整理をしてみますと滞留時間等も増えましてこの昨年度と比べまして非常に成果としてはあった、盛り上がったのではないかといいふうに思っております。この事業、名称のとおり竹原駅前にぎわい空間再生事業ということで駅前に限定した事業での社会実験ということではありますが、広い意味で観光とか様々な施策を進めていくということで、この事業だけでなく、観光客が増えるような取組につきましても今後庁内で検討させていただきたいと思っております。よろしくお願ひします。

委員長（山元経穂君） よろしいですか。

その他ございませんか。

179ページの上段ですね、都市計画総務費です。

宇野委員。

委員（宇野武則君） 179ページの7の7のアドバイザー報償，6万3，000円ですが，これはどういう内容なのですか。

委員長（山元経穂君） 都市整備課長。

都市整備課長（広近隆幸君） 報償につきましては，先ほども竹原駅前にぎわい空間再生事業ということで，山口大学の教授になられますが，人口減少に対応した地域再生でありますとか低未利用地の活用等を専攻とされておられるということで当初からいろいろアドバイスをいろいろな企画に入っていていただいておりまして，こちらのほうの報償費として6万3，000円を計上させていただいております。

委員長（山元経穂君） 宇野委員。

委員（宇野武則君） これ，この前の分ですが，やっぱりこれを読むと，アドバイザーのある程度ポイントを絞ってやって，それが成果があったかどうかという検証も必要なのではないかな。これ，全部私は読んで，これ前にやったアドバイザーの。ほとんど空鉄砲みたいな状態で。やっぱりこういうものを委託した場合には，やっぱりこの竹原市の現状というものをやっぱりしっかり把握した上で判断してもらわないと，こういう文章で判断してもらおうとやっぱり成果があったのか，ないのか，これ読むとほとんど真逆なことで成果と言われるようなものはほとんどないのだが，アドバイザーもいいのですが，しかし現実には市内の企業の方との意見交換を綿密にやるとか，やっぱりここを中心に生活している人でないとなかなか分からないと思うのですがね。こういうアドバイスをもらうことによって空論みたいなことになっても困るのでね。やっぱり行政の皆さんが窓口になって，やっぱり企業を回って企業の意見を聞くとか，やっぱりここに生活圏を持った人ではないとなかなかね。大都会のほうは別ですよ，いろんなものができるから。だから，20万都市，30万都市と竹原市の土地の同じアドバイザーでもやっぱり全然実効性が伴いにくいよね。だから，東広島の方は空き店舗になって1か月したら次の店が出店するようになるところと，竹原市のようにもう空き地になったらもうずっと空き地になってそのままというところと，そこらはアドバイスをもらってもなかなか実効性が伴わないからね。やっぱりあまり大学の先生か何か知らないのですが，やっぱりここに生活圏持っていないと，実際は分からないよね。だから，そこらも含めて内部でやっぱり皆さんがそれなりの知恵があるわけだから，やっぱりいろいろな市民の声を聞きながら行政を進めていくほうがいいと思うのですが，最近こういうものにあまり頼り過ぎだと思うよね。その点について。

委員長（山元経穂君） 都市整備課長。

都市整備課長（広近隆幸君） この事業は令和2年度から始めている事業なのですが、まず先ほど委員さん言われたとおり地元のことが一番分かるということで、この駅前エリアの将来あるべき姿をどのように取り組んでいくのかといったことで、まず商店街の事業者の方、それから地元の住民の方ということで勉強会を開催をしております、そこから専門的なノウハウを持たれる大学教授のアドバイザーということでアドバイスをいただくということで、職員も当然その中に入っているのですが、こういった進め方をこれまで取り組んできております。

委員長（山元経穂君） よろしいですか。

その他ございませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

委員長（山元経穂君） ないようですので、続きまして同じ178ページの下段、公園管理費、181ページの上段までですね、公園管理費でこのうち、1、バンブー体育施設管理に要する経費を除いた部分で質疑のある方はお願いいたします。

今田委員。

委員（今田佳男君） 181ページの4番、都市公園整備に要する経費1,380万円、この内容を教えていただけますか。

委員長（山元経穂君） 都市整備課長。

都市整備課長（広近隆幸君） こちら工事請負費ということになりますが、具体的には中須公園、民生都市建設委員会さんにはちょっと以前説明をさせていただいているのですが、こちら借地公園となっております、所有者の方が将来的な土地利用のほうに固まりまして、四十数年借り上げていたのですが、こちらのほうを返していただいて自分の土地利用を景観に見合った活用をしていきたいということで返還を求められておりまして、そういったことで市のほうも返還するというふうな方針であります。当面新たな都市公園というのはすぐできませんで、これに代わる一時的な代替公園とはなるのですが、第2丸子山市営住宅の一角に市有地になるのですが、通称ゴリラ公園と呼ばれているのですが、そちらのほうへ遊具等を移設をしまして次の公園ができるまで利用していただくということで、ですのでこの工事費につきましては現状の施設の移設費と樹木等がありますのでそちらの伐採、それから原状回復費ということで工事請負費1,100万円を上げさせていただきます。

委員長（山元経穂君） 今田委員。

委員（今田佳男君） 公園の撤去というか、代替えが丸子山のほうでちょっと距離があって、あの近所は最近若い人が増えて子供たちも大変使っている公園で、撤去、返還されるということでそれはやむを得ないのだと思うのですけれども、早急に近くに新しいというか、設備を検討していただきたいと思うのですが、その点はもう少しお願いできますか。

委員長（山元経穂君） 都市整備課長。

都市整備課長（広近隆幸君） 中須公園，御承知のとおり子供さんも非常に多い地区で街区公園12あるのですが、その中でもかなり利用が高い公園，利用率の高い公園となっておりますので，できるだけ早い時期に代替の同規模となりますけど，そういった場所を探してできるだけ早期に整備したいと考えております。

委員長（山元経穂君） その他ございませんか。

宇野委員。

委員（宇野武則君） 181ページの3の12ですか，的場海水浴場管理委託料ですが，そのうちの進入禁止のブイを設置するわけですが，あのブイを，あれは20センチぐらいですかね，少し波があつたら分かりにくいのよ。もうちょっと倍ぐらいの大きなのをとこどころにやっておかないと，あそこもスクーターがよく走りますので，やっぱり突っ込むような危険性もあるし，それから流されて沖に出る場合に大きいブイでなければなかなか浮力がないのですね。私は，あそこのサメネットをやめてもらって二十何年になりますのでね，そういう関係があつてしょっちゅう見に行くのですよ。そして，ちょっとの手間かけたらやっぱり安全性が非常に高くなるので，もう倍ぐらいのブイを5メートル置きぐらいに設置するとかというようなことをちょっと検討してみてください。どうですか。

委員長（山元経穂君） 都市整備課長。

都市整備課長（広近隆幸君） 毎年7月中旬から8月盆辺りぐらいまでの的場海水浴場開設しておりまして，安全対策としてロープでありますとか点滅発光器の設置をしておりまして，そういった安全対策というのは非常に重要なこととなりますので，今いただいた意見を参考にしっかり検討していきたいと思っております。

委員長（山元経穂君） よろしいですか。

その他ございませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

委員長（山元経穂君） ないようですので、続きまして同じページ，180ページの街路事業費について質疑のある方はお願いいたします。

ございませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

委員長（山元経穂君） 続きまして，その下，4番，駐輪場管理費について質疑のある方はお願いいたします。

ございませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

委員長（山元経穂君） では，その下，5番，土地区画整理事業費，183ページの中段までございますが，2番の新開土地区画整理事業に要する経費についてのみ質疑をお願いいたします。

松本委員。

委員（松本 進君） 私の質問は，ここの新年度，9，212万7，000円予算措置をされておりますけれども，私の質問の趣旨というのはこの新開事業について具体的にどう検証してきたのかなというのをちょっとお尋ねしたいと思うのですね。それで，この新年度の概要版の中の4ページのところに当初予算の考え方，柱ですよ，これが一応示されておいて，一番下のところの2行なのですけれども，令和4年度当初予算の編成に当たっては，既存の事業を再度確認し，事業効果が小さくなっている事業等については見直しを行うということがちょっと一番柱としてやっぱりあるのですね。それと，担当常任委員会で1月25日に説明があってその資料を見させていただくと，この事業というのが来年3月末で期限が切れるけれども，それを再度6年間延長して工事に取り組みたいというような報告があって，事業計画の事業費というのがどう変わるかというの，ちょっとこの資料にあるのですけれども，変更前というのは来年3月までは総事業費が48億5，300万円と，これが6年間延長して51億3，200万円というようなちょっと予算が膨らむと，事業費が膨らむということになって，ここの中の一番さっき言った事業効果の検証に関わるのですけれども，市の単独事業費が変更前が11億4，800万円から変更後はどうなるかと，13億8，900万円と，この2億4，100万円増額というのは市の持ち出しがそうってくる。だから，ここに本当に必要なら事業効果があってこういったまちづくりやるのだというそこがどう検証されたのかということを知りたいということなのです。この間，私も今回初めてではなくてこれまでる取り組んで質問してきました。これ

がもう30まで取り組むのが、来年度末でもう27年間になります。それが6年間延長したら33年間の長期の取組で、先ほど言った51億円の事業費に膨らんでくるというような状況ですね。この本来の目的というのは、当時の場所を見るとただ田や畑、そういった農地だったのを区画整理事業で面的整備して、そこに住宅を建てる、商店街をつくるというので竹原市のにぎわいの中心的な事業として位置づけてきたわけです。この事業そのものについては、賛否がいろいろありました。しかし、竹原市としてもこれだけ長期間投資して、端的に言えば竹原市の人口を歯止めのためにこのまちづくりをしたいというのが一番柱ですよ。しかし、結果はこの何年間で人口も減っているし、商店街とかいろんな小売業のところの分も実際減っている。そろそろこういった事業はもう停止すべきよね。しかし、新たにまた6年間延長したいということを出してきて、市の単独事業費、単市も2億4,000万円つぎ込もうとしていると、巨額なお金をね。ですから、元の質問というのは、これだけやっぱり継続して延長したいと、どういった検証をしてきたのかと。私は、人も減っているし商店街も減っている、そろそろもう止めたほうがいいよと思うのだけれども、どういった検証をしたからどうしてもやらせてほしいということになるかをお尋ねしておきたい。

委員長（山元経穂君） 都市整備課長。

都市整備課長（広近隆幸君） 新開土地区画整理事業についてですが、竹原市の都市区画整備事業における重要施策ということで平成8年事業計画決定をして、これまで25年間ということで取り組んできたところであります。これまでの検証、取組の成果といたしますと、建物の新築数でいいますと保証物件も含めまして243軒区域内に新築をされておりますし、それに伴いまして人口も当初480人でありましたが、680人増えて現在約1,160人というふうなことであります。今年度1,000平米以上の規模の店舗にもちょっと聞き取りのほうを行いまして、その結果、新たな雇用ということで281人、そのうち市内在住者が199人というふうな地元の採用、雇用の場にもつながっているということ。それから、固定資産税についても工事に着手しました平成10年、11年と比較しますと年間土地、建物で8,100万円の税収増とつながっているということで、一定の効果はあったものと考えております。今回、事業計画のほうを延長をいたしまして令和10年3月までというふうなことで、確かに今委員さん言われましたとおり事業費のほうは2億7,900万円増ということで、市の単独事業につきましても2億4,000万円の増加ということで、こちらの要因につきましては令和元年10月に消費税のほ

うが8%から10%に改定されたということでこういったものでありますとか、近年材料費でありますとか労務費、そういったものが2割から3割程度暴騰しているといったことでこういったものも含まれておりますし、事業が長期化したということで土地、2年ずっと土地の地価が下落しておりますので、そういった保留地の処分金のほうが市の減額になりますので、そういった影響も受けたことで2億7,900万円単独事業が増加というふうなことであります。こういった長期化していることにつきましては、地権者との交渉が難航しているといったことでありますとか、近年では豪雨災害の対応でありますとかコロナによる地権者との交渉がちょっと遅れぎみになっているというふうなこともございますが、こういった効果がある、見込まれる事業でありますので、進捗率現在今年度末で87%と見込んでおりますが、早急に早期の事業完了に向けて今後もこれまで以上に取り組んでまいりたいと考えております。

委員長（山元経穂君） よろしいですか。

松本委員、質疑が事業の改廃までいっているのでもしよかったですこれ以上はほかに聞くところがなければ総括で。

松本委員。

委員（松本 進君） 今、成果という面でちょっと説明があったのは、その区域内の新築とかいろんな人口増とかというのがちょっと説明ありました。私が言いたいのは、この長期にわたってのプロジェクトというのは竹原市全体の一つの柱で、要するに一つの指標は人口増あるいは人口減少をいかに止めるかと、あるいは雇用の場を、商店街の雇用とかを含めたそれをどう活性化させるかというのが一番の柱なのですからね。それから見たら、もう誰が見ても人が減っている、商店街の雇用こうなっているということを私はどう検証したのかということをやちょっと言いたかったのですが、ちょっと総括質疑に切り替えたいと。

委員長（山元経穂君） その他ございませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

委員長（山元経穂君） ないようですので、182ページの下段から183ページまで、下水路費について質疑のある方はお願いいたします。

下垣内委員。

委員（下垣内和春君） 183ページ、下水路維持管理に要する経費の12番、汚泥等処分委託料、令和3年度に比べたらかなりの予算増でございます。令和4年度は1,400

万円になっている。この要因と令和4年度はどのような対応されるのかについてお伺いします。

委員長（山元経穂君） 建設課長。

建設課長（松岡俊宏君） それでは、失礼いたします。12番の汚泥等処分委託料1,400万円でございます。

こちらのほうは、下水道清掃活動に係る汚泥等の処分につきまして、これまで各地域の皆様へ処分場まで汚泥等の搬入をお願いしておりました。ただ、昨今の高齢化等の理由によりまして処分場までの搬入が困難な、そういった声もしっかり受け止めまして、令和4年度より団体から要望があったものにつきましては市で汚泥等を回収することとし、こういった予算を計上しております。なお、もう自治会のほうには今周知ということで案内のほうはさせていただいているのですが、汚泥の回収する予定を大体集中する4月、5月、6月、それから秋の10月、11月の第何週というふうな形でお知らせをして、それを事前に市のほうに回答していただくとその週の範囲で回収すると、そういった中身でございます。

以上です。

委員長（山元経穂君） その他ございませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

委員長（山元経穂君） ないようですので、続きまして186ページの1番、伝統的文化都市環境保存地区整備費のうち、1番、景観道路・修景広場維持管理に要する経費のみについて質疑のある方はお願いいたします。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

委員長（山元経穂君） ないようですので、続いて住宅費に入ります。

190ページから193ページの末まで、住宅管理費、このうち1の人事管理に要する経費は除きます。その中で質疑のある方はお願いいたします。

堀越委員。

委員（堀越賢二君） 191ページの住宅管理に要する経費で、概要の41ページに市営住宅長寿命化事業とあります。丸子山の住宅と成井の住宅の電気容量改修工事、これの工事費の割合というか、それを教えていただけますでしょうか。

委員長（山元経穂君） 都市整備課長。

都市整備課長（広近隆幸君） 令和2年度末に策定しました市営住宅の長寿命化計画に基

づく長寿命化の工事ではありますが、来年度につきましては今後長寿命化なり活用と位置づけております第2丸子山住宅、こちらの外壁でありますとか給水設備、電源設備等を内容とします全面改修ということで、1戸当たり500万円で5戸で2,500万円、それから成井住宅、こちらは長寿命化の位置づけではありますが、こちらのほうも電気設備ですが電気容量の工事ということで600万円、合わせまして3,100万円といたしております。

委員長（山元経穂君） よろしいですか。

その他ございませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

委員長（山元経穂君） ないようですので、続きまして用悪水路費に入りたいと思います。

194ページ、195ページの末まで、樋門維持管理費について質疑のある方はお願いいたします。

ございませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

委員長（山元経穂君） ないようですので、続きまして196ページ、197ページ、1、急傾斜地崩壊対策費について質疑のある方はお願いいたします。

ございませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

委員長（山元経穂君） 続きまして、198ページ、199ページ、1、交通安全対策事業費の中で2、交通安全施設整備に要する経費について質疑のある方はお願いいたします。

今田委員。

委員（今田佳男君） 交通安全施設整備、通学路の問題がいろんなところで取り上げられて国も予算をつけるというような話も出ているのですが、この今回の予算の中で通学路に絡むものがあるかどうか教えていただけますか。

委員長（山元経穂君） 建設課長。

建設課長（松岡俊宏君） この通学路に絡むということで、この修繕等で180万5,000円というところで積んでおりますけども、こちらのほうはカーブミラーとかそういったガードレールとか路面標示というところで、そういう危険箇所に伴って、そういう場所

があれば当然対応していくこととしておりますので。

委員長（山元経穂君） 今田委員。

委員（今田佳男君） 毎年いろんなところ、学校から要望とかいろんな地域から上がっていると思って緊急性とかという判断をされると思うのですけれども、できるだけ対応していただくようお願いしたいと思うのですが、その点どうですか。

委員長（山元経穂君） 建設課長。

建設課長（松岡俊宏君） そこはしっかり対応していきたいというふうに考えております。また、通学路につきましては年間通しまして今の教育委員会と連携をして、道路管理者、国、県、市、それから竹原警察署、それから教育委員会、PTA、そういったところで連携をしながら安全パトロールといたしますか、危険箇所のそういった現場でのそういった取組でありますとかそういう声を拾って適切に対応しているという状況でございます。

委員長（山元経穂君） 今田委員。

委員（今田佳男君） 教育委員会さんがいろいろ学校から情報が上がってきて、最終的には建設のほうへお願いするという、去年もそういう話だったのですが、ということになるので、できるだけ対応していただくようによろしく申し上げます。

委員長（山元経穂君） その他ございませんか。

暫時休憩いたします。

午前11時52分 休憩

午前11時52分 再開

委員長（山元経穂君） 休憩を閉じ議事を再開いたします。

続きまして、240ページ、241ページで1番、公共土木施設災害復旧費について、そのうちの1、公共土木施設災害復旧に要する経費について質疑のある方はお願いいたします。

下垣内委員。

委員（下垣内和春君） この事業につきましては、令和3年度の大雨災害が中心だろうと思いますが、令和4年度についてどのような取組をされるかお伺いします。

委員長（山元経穂君） 建設課長。

建設課長（松岡俊宏君） こちらのほうは、令和3年の災害に対応するということでの予算でございます。まず、災害の国の補助を受けるための災害を受けました工事箇所が約

20か所というところでございます。それに伴う測量設計の委託料でありますとか、補償費、そういったところを今回約3年間で実施していきたいというふうに考えております。それと併せまして、補助に載らない部分、単独災害部分につきましても予算のほうをこの中に組んでいるという状況でございます。

委員長（山元経穂君） 下垣内委員。

委員（下垣内和春君） 最後にお伺いするのですが、平成30年7月豪雨は激甚指定の災害ですよ。今回の大雨災害は、激甚災害の指定は受けていないですよ。ということになると、竹原市の持ち出す、国が出していただくお金は今の30年と今回はやっぱり若干違うのではないかと思うのですが、その負担割合についてお伺いをさせていただきます。

委員長（山元経穂君） 建設課長。

建設課長（松岡俊宏君） そうですね、ちょっと後ほど出てくるのですが、農地・農業施設のほうは激甚で指定されておりまして、補助率のかなり高い率になっております。今回、公共のほうは激甚災害の対象外というところでございまして、前回の30年災害とは違って、今回は補助率が86.3%という状況でございます。

委員長（山元経穂君） よろしいですか。

その他ございませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

委員長（山元経穂君） ないようですので、続きまして農林水産施設災害復旧費、242ページ、243ページ、この中で質疑のある方はお願いいたします。

下垣内委員。

委員（下垣内和春君） 242ページ、農林水産の災害復旧についてお聞きしますが、前回と同じようになるわけですが、大雨災害に対する農林、漁業に対して、農地とか農業用水路の負担割合ですよ。当然農家の方はやっぱりその辺をかなり気にされておりますので、その負担割合がどのようになるかということについてお伺いします。

委員長（山元経穂君） 建設課長。

建設課長（松岡俊宏君） 今のその農地・農業用施設の災害につきましては、農地の部分が補助率が96.6%、それから地元といいますか、所有者の方が負担していただく分担金というのですが、そちらが1.7%、市のほうが1.7%という状況です。それから、農業施設につきましては、補助率が99.1%で、分担金として個人さんの負担して

いただくのが0.1%,それから市の負担が0.8%といった状況でございます。

委員長（山元経穂君） 下垣内委員。

委員（下垣内和春君） 前の激甚災害のときは、40万円以上の災害で国から指定を受けたものですが、40万円未満の災害についてはどのような負担になるのか教えてください。

委員長（山元経穂君） 建設課長。

建設課長（松岡俊宏君） そちらのほうは単独災害ということになりますので、そちらの負担のほうは、ちょっと待ってください。施設のほうが10%,農地のほうが30%という状況です。すみません。

委員長（山元経穂君） 下垣内委員。

委員（下垣内和春君） 30%。前35ではなかった。30%か。

委員長（山元経穂君） 建設課長。

建設課長（松岡俊宏君） 35です。失礼しました。

委員長（山元経穂君） よろしいですか。

委員（下垣内和春君） はい、いいです。

委員長（山元経穂君） その他ございませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

委員長（山元経穂君） ないようですので、建設部の一般会計については質疑を終了したいと思います。

次に、港湾事業特別会計に入りたいと思います。

336ページをお開きください。

港湾事業特別会計ですが、委員の皆様、もしよろしければ歳入歳出を一括で行いたいと思いますが、よろしいですか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

委員長（山元経穂君） では、港湾事業特別会計について、336ページから343ページまで、歳入歳出一括で質疑のある方はお願いいたします。

ございませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

委員長（山元経穂君） ないようですので、これをもって建設部の個別審査を終了いたします。

次回は、3月8日火曜日、10時から全体審査を行います。審査方法について再度確認をいたします。1、委員会室、この部屋にて行います。2、一般・特別企業会計を一括、2日間の枠の中で行います。3、事前通告方式、通告提出日は3月7日月曜日の12時まで、お昼12時まででございますので、よろしくお願いいたします。4、若い期の委員順に質疑を始めます。5、通告の質疑項目ごとに3回で時間を1時間といたします。答弁を含みます。よろしいでしょうか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

委員長（山元経穂君） 以上で第5回予算特別委員会を終了いたします。

お疲れさまでした。

午後0時00分 散会